



やまがた ゆきみらい通信

～雪と生きる 雪を活かす～

第12号

発行所 やまがたゆきみらい推進機構

〒995-0024 村山市榎岡笛田 4-5-1

TEL:0237-47-8614 Fax :0237-55-5236

E-mail ykitamurasomu@pref.yamagata.jp

第2回やまがたゆきみらい

シンポジウムを開催

今年度二回目となるやまがたゆきみらいシンポジウムが七月二十九日に約七十名が参加し、村山総合支庁北庁舎講堂で開催された。

今回は「地域のエネルギー自給を目指した雪冷熱の利活用について」をテーマに講演や事例発表が行われた。

最初に、山形大学大学院の横山教授が「大地系エネルギーにこだわる訳―利雪・融雪」と題して基調講演。雪むろを利用すると電気保冷倉庫に比べエネルギー資源を温存でき、環境への負荷を大幅に軽減できることなどを、数式を交えて論理的に説明した。

また、▽大蔵村四ヶ村地区で

横山教授



の利雪活動▽置賜産地研究室の雪冷熱を利用したイチゴの栽培試験▽雪むろを利用したもみ乾燥試験について事例発表が行われた。

真夏の親子雪体験

今年も好評でした!

真夏に「雪体験」ができるバスツアーが八月六日に三十四人が参加して行われました。

村山市雪むろ施設及び尾奈沢市役所の簡易雪冷房システムを見学し、新庄市雪の里情報館では、雪国の文化に触れました。

最後の雪氷防災研究センター新庄支所では、氷点下10℃の低温実験室の天井の降雪装置から舞い落ちる雪に参加者は大喜びし、雪を投げあひ、雪に親しまいました。



やまがたゆきみらい「雪サロン」を開催しました

やまがたゆきみらい「雪サロン」が、六月二十九日に約五十名が参加し、米沢市の置賜総合支庁で開催された。

今回は「置賜地域における雪冷熱エネルギーの利活用について」をテーマに、置賜地域で雪冷熱エネルギーの利



活用を行っている団体からの事例発表を踏まえて、雪冷熱利用に係る活発な意見交換が行われた。▽川西町フレンドリープラザの雪冷房システム▽糠野目小学校の雪冷房システム▽飯豊町いいで雪室

平成22年度総会を開催しました

開催しました

平成二十二年度の総会が五月十七日、村山総合支庁本庁舎で行われ事務局から提案された全ての案件について承認された。引き続き雪氷防災研究センター新庄支所の阿部総括主任研究員による「屋根雪問題の核心」と題した記念講演会では、多くの経験を踏まえた屋根雪に関する実証成果に係る発表が行われました。



▽飯豊町いいで雪室 中津川地区の雪室▽置賜産地研究室の雪冷熱を利用したイチゴの栽培試験▽川西町の簡易雪室(個人)

大好評! 雪むろ米の試食

七月八日に村山総合支庁北庁舎において「ふれあいデー」が開催され、快食亭さんからは、雪むろ米の試食のおにぎりが提供され、利用者からは、「おいしい」と大好評でした。

